

## 看護技術Ⅲ 課題

### 看護過程に関する課題(柴田)

1.「看護過程と看護診断」(三上れつ、ヌーヴェルヒロカワ)[事例 3 間質性肺炎で病気の自己管理が必要な患者](pp.161-175)をよく読み、以下の課題について内容をまとめなさい。

#### 1)課題 1

基礎看護技術 I p.255 「表 3-9 Wさんの事例における看護問題の明確化のプロセス」を参考に、事例 3 の J・K 氏についてゴードンの機能的パターンの全ての項目ごとに看護問題の明確化のプロセスを整理してください。

#### <記載例>

##### J・K 氏の事例における看護問題の明確化のプロセス

| アセスメント項目および注目した情報 | 看護問題の明確化のプロセス                       |
|-------------------|-------------------------------------|
|                   | ●:看護問題として取り上げるもの<br>○:看護問題に関連することから |
| ①健康知覚／健康管理        | ●咳嗽、操作時・会話時呼吸困難<br>○喫煙の習慣           |
| (②～⑩は略)           |                                     |
| ⑪価値／信念            | 特記なし                                |

#### 2)課題 2

仮診断(pp.166-169)を読み、基礎看護技術 I p.259 「表 3-10 看護問題の種類と表記すべき内容と表記方法」を参考に、仮診断の問題の明確化の記載について看護問題の種類と表記すべき内容を対応させて書いてください。

#### <参考>

関連因子の確認は、pp.256-259 を参考にし、わからないことは調べること。

#### 3)提出について

A4 用紙、縦置き・横書きとし、ヘッダー右上に提出日時、フッター右下に学籍番号、学生氏名を記す。1 枚以内とするが、2 枚にわたる場合は両面に書くこと。

## フィジカルアセスメントに関する課題(上妻)

### 1. テキストを、その内容が理解できるまでよく読む

- 1) 基礎看護技術 I p64-203(特に、p64-92、127-203)
- 2) フィジカルアセスメントガイドブックp46-205

### 2. 基礎看護技術 I p346-348 の動画の視聴と実践

- 1) 動画内容が理解できるまで視聴する。
- 2) 自分でできるものは、実施してみる。

例えば、L 関節の動き、P 対光反射(鏡を見ながら懐中電灯を使って実施可能)

### 3) 以下の内容についてまとめる(提出)

- ① 動画 F~K は、フィジカルイグザミネーションの方法とその目的
- ② 動画 L は、各関節の動きにおいて関与する筋肉と可動域
- ③ 動画 M は、目的、方法、評価
- ④ 動画 N~P は、反射に関与する神経と筋肉、および各反射の反応の評価

### 3. 以下の日常生活行動をアセスメントするためのフィジカルイグザミネーションとアセスメント内容をまとめる(提出)。

- 1) 「食事をする」
- 2) 「排泄をする」

### 4. 提出について

「看護過程」の課題提出要領に準じる。

\* 「看護過程」および「フィジカルアセスメント」の課題共に、提出日程は後日連絡する。いつでも提出可能なように準備すること。